

# 江別市議会

## 第9回「市民と議会の集い」

〔報告書〕



1. 発行にあたって
2. 開催概要
3. 意見交換概要
4. アンケート結果
5. 当日の様子

議会広報広聴委員会

# 1. 発行にあたって

---

江別市議会では、令和5年11月に第9回となる「市民と議会の集い」を開催しました。「市民と議会の集い」は、平成25年に制定された議会基本条例に基づき、市民と議員が意見交換する場として、平成26年から開催されており、開催結果について報告書にまとめております。

今回は、野幌公民館、江別市民会館、大麻公民館の3か所で3日間合わせて39名の皆様にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様に改めて、感謝申し上げます。

開催方式については、毎回、試行錯誤を重ねておりますが、今回は、前回の参加者アンケートで満足度の高かったワークショップ形式を踏襲し、お住まいの地域や世代に関わらず関心の高いテーマとして防災・減災を設定して、意見交換を行いました。

また、今回、新たな取り組みとして、託児サービスを設け、ご利用された皆様から参加することができてよかったとの感想を頂きました。

各会場で頂いたご意見については、所管する各委員会で共有するとともに、特に調査する必要があると判断した項目については、所管委員会において担当課から報告を受け、質疑を行いました。

なお、前回から、報告書を市長にも提出することとし、頂いたご意見について、市長をはじめとした行政職員にも共有しております。

今後も、市民の皆様と情報や意見を交換する場を多様に設け、市民に信頼される開かれた議会を目指して力を尽くしてまいります。引き続き、多くの皆様に議会に関心を持っていただけますよう、よろしくお願いいたします。

議会広報広聴委員会  
委員長 岡 英彦

## 2. 開催概要

	第1回	第2回	第3回
日時	令和5年11月7日(火) 10:00~12:15	令和5年11月12日(日) 10:00~12:15	令和5年11月14日(火) 18:15~20:30
会場	野幌公民館	江別市民会館	大麻公民館
内容	<p>ワークショップによる意見交換</p> <p>[ワークショップ:1]            テーマ:どうする?防災・減災            ~自分ができること 地域でできること 市に求めること~            &lt;項目&gt;            ①自分ができること            ②地域でできること            ③市に求めること</p> <p>[ワークショップ:2]            テーマを設けず、自由な内容での意見交換</p>		
参加者数 (市民)	15名 グループ 1:3名、2:3名、3:3名、 4:3名、5:3名	11名 グループ 1:2名、2:2名、3:2名、 4:2名、5:3名	13名 グループ 1:2名、2:3名、3:3名、 4:2名、5:3名
参加議員	<p>議長 <small>しまだ やすみ</small> 島田 泰美 副議長 <small>うちやま よしひろ</small> 内山 祥弘</p> <p>議会広報広聴委員会(◎委員長 ○副委員長)            ◎岡 <small>おか ひでひこ</small> 英彦/○干場 <small>ほしぼ よしこ</small> 芳子/石川 <small>いしかわ あさみ</small> 麻美/高橋 <small>たかはし のりこ</small> 典子/高間 <small>たかま せんいつ</small> 専逸/高柳 <small>たかやなぎ りさ</small> 理紗/徳田 <small>とくだ さとし</small> 哲/  <small>ふじき まさおき よしだ みゆき</small> 藤城 正興/吉田 美幸</p>		
	<small>いわた ゆうた おくの たえこ</small> 岩田 優太/奥野 妙子/ <small>ささき せいこ すずき まこと</small> 佐々木 聖子/鈴木 誠/ <small>はが まさみ</small> 芳賀 理己	<small>いなもり こうじ いのまた みか</small> 稲守 耕司/猪股 美香/ <small>のむら かずひろ みよし よしえ</small> 野村 和宏/三吉 芳枝/ <small>よしもと かずこ</small> 吉本 和子	<small>いしだ たけし おさだ てるき</small> 石田 武史/長田 旭輝/ <small>のむら ひさし ほんま けんいち</small> 野村 尚志/本間 憲一

### 3. 意見交換概要

[ワークショップ:1]

テーマ:どうする?防災・減災

～自分ができること 地域でできること 市に求めること～

#### ① 自分ができること

○11月7日(火)

グループ	内 容
1	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報の確保・市のホームページへのブックマーク。</li><li>・食料の備蓄。</li><li>・避難グッズの準備。</li><li>・携帯ラジオ。</li><li>・避難所の確認。</li><li>・避難コースの確認。</li><li>・家族(遠方の親族)との連絡方法の決定。</li><li>・防災訓練への参加。</li><li>・災害ボランティアに参加し学ぶ。</li><li>・子どもへの防災教育。</li><li>・キャンプで訓練(キャンプすることが災害時にも役に立つ)。</li><li>・ご近所や友達などのつながりを確認。</li><li>・電気の確保(冬場の暖房用が必要。バッテリーを準備した)。</li></ul>
2	<ul style="list-style-type: none"><li>・車にガソリンを半分以上は入れておく。</li><li>・防災グッズ(避難リュック)を用意する。</li><li>・水をストックしている。</li><li>・冬場に備えて防寒対策・自分の病歴を伝えられるようにしておく。</li><li>・発電機や太陽光発電を用意する。</li><li>・高齢であっても避難所運営などで、自分でできることはお手伝いしたい。</li><li>・市の防災メールや LINE 公式アカウントに登録しておく。</li></ul>
3	<ul style="list-style-type: none"><li>・水、食料、電池、懐中電灯、暖房器具など 3 日間程度の基本的な日常品の確保。</li><li>・家族で避難場所を確認しておく。</li><li>・家族の安否確認に加え、ご近所の友人や独居者、高齢者、障がい者の方々の安否確認。</li><li>・ラジオやスマホで状況を把握する。</li><li>・もし、火災や重大(危険)な事態が発生している場合は市に通報する。</li><li>・親族などに安全であることを伝える。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期間災害時に必要な暖房用品</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に避難場所の確認をする。</li> <li>・隣同士のコミュニケーションを取る努力をする。</li> <li>・災害情報の確認ツールを多めに持つ(スマホ、テレビ、ラジオ等)。</li> <li>・電話帳をメモして保管しておく。</li> <li>・電源の確保充電器・発電機等の用意。</li> <li>・リュックに防災用具を用意して避難経路に用意しておく(少額のお金等も用意)。</li> <li>・避難用・備蓄用を分けておいてある。</li> <li>・ガスコンロ・ガスボンベを用意してある。</li> <li>・冬季対策として電池式の灯油ストーブを置いてある(灯油20リッターも)。</li> <li>・夜間避難用ヘッドライトを用意している。</li> <li>・ビニール袋の用意(アイラップ)食品を湯煎して調理するため。</li> <li>・ビニール袋黒は汚物入れ、大きめのビニール袋は保温用、雨除けに使うため用意している(大きめ黒汚物用・透明はカップ等)。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小銭(現金)を持つようにする。</li> <li>・車のガソリンをこまめに入れる。半分になったら給油するようにする。</li> <li>・携帯の充電器を持ち歩く。</li> <li>・ソーラーパネル、蓄電器を購入した。</li> <li>・カセットボンベで利用できるコンロやストーブを用意している(停電対策として)。</li> <li>・電源のいらない暖房を準備している。</li> <li>・水の備蓄・確保(お風呂に水を貯める。ペットボトルの水は古くなってもトイレで使えるのでとっておく。給水所の確認など)。</li> <li>・防災リュック・バッグの準備。</li> <li>・災害情報を見られるサイトや SNS のチェック。</li> <li>・家族で災害時のシミュレーションをしておく(緊急時に避難する場所などを確認)。</li> <li>・ペットを連れての避難に備える。</li> </ul>

## ○11月12日(日)

グループ	内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を(自身)守る。</li> <li>・現金を準備しておく。</li> <li>・ガスポータブルの準備(電気を使わない)。</li> <li>・家族会議で連絡体制を確認する。</li> <li>・車のガソリンを入れておく、発電機を買う。</li> <li>・トイレにペットボトルで水をおいておく(2~3本)。お風呂の水をためておく。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプグッズの点検(用意があれば役に立つ)。家庭防災グッズの用意。</li> <li>・電池式の照明器具を確保。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の確保(風呂に水をためている・飲料水備蓄)。</li> <li>・熱源確保(カセットコンロ・ガス缶)。</li> <li>・避難場所を確認しておく。</li> <li>・防災バッグを準備している。</li> <li>・避難時の持ち物を用意しておく。</li> <li>・まずは自分の命を守る。</li> <li>・手巻きラジオを準備している。</li> <li>・2～3日分の食料など備えておく。</li> <li>・小まめな情報収集。</li> <li>・ポータブル電源。</li> <li>・ポータブルストーブ。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の安否確認。</li> <li>・地域の安全確認。</li> <li>・発電機の確認。</li> <li>・電源確保と燃料の確認 ストーブ電池式準備。</li> <li>・日頃から連絡取れるよう避難場所決めておく。</li> <li>・動物の避難。</li> <li>・ラジオ ランタン常備。</li> <li>・家族との連絡方法確認。</li> <li>・家具の固定。</li> <li>・車のガソリンを半分以下にしない。</li> <li>・警報が出る前の天気予報や TV やメールを注意して見る。</li> <li>・自治会に協力して近所の1人暮らし世帯や高齢者に声掛けをして支援や情報提供する。</li> <li>・非常持ち出し袋半年または1年に1回点検。</li> <li>・トイレの水確保。</li> <li>・ガスコンロのポータブルストーブ常備。</li> <li>・避難バッグ準備。</li> <li>・食品備蓄 3日分くらいの食糧保存。</li> <li>・団地なので自分より年上の方への声掛け。</li> <li>・避難経路 避難所の確認。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビに耐震マット。</li> <li>・ポータブル電源の準備。</li> <li>・非常食(水)を備えている。</li> <li>・地震対策では、家具等の倒壊に備えている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポータブルストーブ用意している</li> <li>・冬の時ガスボンベタイプのストーブを用意。</li> <li>・家族との情報・連絡手段。</li> <li>・市からの情報をスマホに取り入れている。FAX を登録している。</li> <li>・トイレの水を確保。</li> <li>・避難場所の確認。</li> <li>・ガソリンの確保。常に満タンにする。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源の確保(発電機・ポータブル電源)。</li> <li>・停電に備えてカセットコンロ、カセットボンベのストーブを準備した。</li> <li>・懐中電灯と電池の用意。</li> <li>・ろうそくを用意。</li> <li>・食料・水の備蓄(乾パンが賞味期限切れになった。ローリングストックを考える)。</li> <li>・トイレトーパーなどの日用品の備蓄。</li> <li>・捨てられるトイレ(災害に備えて試しておく必要がある)。</li> <li>・ガソリンを満タンにしておく。</li> </ul>

○11月14日(火)

グループ	内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭用発電機の準備。</li> <li>・電池式のラジオ(携帯型含む)を用意する。</li> <li>・防災グッズの準備。</li> <li>・スマートフォンのモバイルバッテリーを用意する。</li> <li>・乾電池でも使える充電器の準備</li> <li>・スリッパ、服などを用意する。</li> <li>・水の備蓄。</li> <li>・筆談用の筆記用具を準備。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発電機の準備。</li> <li>・電源確保と燃料の確認。</li> <li>・電池式ストーブ準備。</li> <li>・ラジオが一番情報が早いため、常にラジオを聴く。</li> <li>・手回し発電機、太陽光発電機常備。</li> <li>・現金を持つ。</li> <li>・車のガソリンを半分以下にしない。</li> <li>・24 本の水やカップめん 20 個くらいをローリングストックしている。</li> <li>・ガスコンロのポータブルストーブを常備。</li> <li>・冬の避難のために使わなくなったスキーウェアが有効。</li> <li>・干物缶詰の備蓄。</li> </ul>

3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポータブルストーブと灯油を準備している。</li> <li>・カセットコンロ・ガス缶を準備して普段から使用している。</li> <li>・現金を準備しておく。</li> <li>・2リットルのペットボトル水を箱で準備している。</li> <li>・懐中電灯(液漏れ防止のために電池は外しておく)。</li> <li>・ソーラー式ライト。</li> <li>・手話使用者は懐中電灯で手がふさがると手話ができないのでヘッドライト必要。</li> <li>・ポータブル電源。</li> <li>・江別市のLINEに登録している(普段それほど活用はできていないが使いづらくはない)。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害は必ず来る、自分だけは大丈夫だと思わないこと。</li> <li>・災害に対する備えをする(人・物・情報)。</li> <li>・家具等の固定で安全確保。</li> <li>・消火器を備えている。</li> <li>・自分の住んでいる所(文京台)に、どんな災害が起こるか日ごろから調べておく。</li> <li>・ストーブ等暖を取るものを備えておく(停電時に使えるもの)。</li> <li>・ヘッドライトの準備をしている(手元を照らし手話が分かるようにする)。</li> <li>・聴覚障害者なので、娘夫婦と2世帯で住んでおり、情報がもらえる。</li> <li>・聴覚障害の明示があるスカーフを備えてある(手話通訳者のものもある)。</li> <li>・食料や水等の備蓄をしている。</li> <li>・電池式ラジオや電池の備蓄をしている。</li> <li>・介護があると避難ができる。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材の備蓄、安全な部屋を作る。</li> <li>・ガソリンを満タンに、発電機を用意、灯油の確保。</li> <li>・水・電気の確保。</li> <li>・自然を大切にする(自然災害が起きないように)。</li> </ul>

## ② 地域でできること

○11月7日(火)

グループ	内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からの声かけ。</li> <li>・災害時のご近所との情報交換。</li> <li>・自治会で、図上訓練だけでなく実際的な避難所運営訓練をしてほしい。</li> <li>・自治会として独居高齢者への連絡・安全確認の体制確立。</li> <li>・冬場の道の確保。道路情報を市へ連絡する。</li> <li>・ドライバーが避難する家の確保など、市との連携体制を強める(農村部)。</li> </ul>

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の住民とのコミュニケーション。</li> <li>・誰が誰を助けるかを決めておく。</li> <li>・断水のときに必要以上に水を使わないように周知する。</li> <li>・除排雪用に空地を提供する。</li> <li>・市外に勤めている市民にも地域を知ってもらう。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に地域の住民が顔見知りの関係をつくり、できる協力をする。</li> <li>・地域にグループホームがあるため、いざという時の手助け等について話したことがある。</li> <li>・地域(自治会)での実践的な訓練(小さな子どものいる人やペットをもつ人など)。</li> <li>・地域(自治会)で具体的なマニュアルを作成し、共有することが必要。</li> <li>・ご近所との協力関係を作っておく。</li> <li>・地域で可能な救出グッズ(ジャッキ等)を避難場所や地域のセンターや自治会に常備する。</li> <li>・要援護者を事前に把握し対応できる体制。</li> <li>・屋内に取り残されている人がいないか確認する。</li> <li>・自分の身近な地域の災害状況を知る。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会としての備品の点検。</li> <li>・備品を使って、イベントや行事で煮炊きをする。</li> <li>・コミュニティーがしっかりしていると助かる人が多い。</li> <li>・自治会での話し合いが難しい。</li> <li>・高齢者、要支援者対応への援助者を含めての話し合いをすることが大事。</li> <li>・コロナ過で交流が減ったので、これから交流を増やす努力が必要。</li> <li>・家庭でも訓練が必要、ご近所との付き合いが大事。</li> <li>・災害時でのレシピ講座が必要。</li> <li>・地域でのサロンをする。</li> <li>・地域でも発電機が必要。</li> <li>・避難訓練・災害マップの活用が必要。</li> <li>・自治会での行事(日頃の交流が大事)。</li> <li>・見晴台自治会が会館のコンロ等をIHに交換とのことですが心配です、災害時の対応のためにプロパンの用意も必要ではないか。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな人がいるのかを知る(日頃から地域とのかかわりをつくる)。</li> <li>・日頃のあいさつを心掛ける(でも変質者扱いされることもある)。</li> <li>・若者も自治体(地域)とのかかわりを持てるような工夫をしてほしい。</li> <li>・江別は学生が多いまちなので、市外から来た人と地域がかかわれるような取り組みが必要ではないか。</li> <li>・子どものうちは地域とのかかわりがあるが、高校～大学と進学していくと、地域との繋がりが薄くなっていく。</li> <li>↑上記に関連して、子どもが地域との繋がりが薄くなっていくと、親も薄くなっていく事が課題(小中ではPTA活動などでのつながりがあるが、子どもが進学すると接点が無くなる。自ら意識</li> </ul>

	して関係を作っていかなければならないが、仕事などで忙しくて難しい)。
--	------------------------------------

○11月12日(日)

グループ	内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居の方の確認(高齢者)、地域の方と日ごろからコミュニケーションをとる。</li> <li>・家族カードを作成(自治会)班長さんが管理、地域住民の情報共有。</li> <li>・地域の道路の確認、避難場所までの道路の確認。</li> <li>・市からの情報を回覧で共有。</li> <li>・回覧名簿で情報の共有。</li> <li>・地域行事を活発にし、積極的に参加する。</li> <li>・高齢者の支援体制。</li> <li>・若い方が多く住んでいる地域の情報共有(誰が住んでいるのかわかりにくい)。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からのコミュニケーション。</li> <li>・高齢者や障がい者の一時避難を如何にするか決めておく。</li> <li>・地域に合わせた防災優先順位の作成。</li> <li>・相互に安否確認。</li> <li>・普段から学校教育の中で防災教育を取り入れる。</li> <li>・地域と学校の連携。</li> <li>・学校避難所ではその場にいる学生の力を借りる(中学生は避難所内誘導等)。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会でできること、できないことを明らかにする。</li> <li>・町内でできることは 自分のまず安全確保最優先 協力し合う。</li> <li>・避難訓練場所 確認定期的に。</li> <li>・普段の付き合いコミュニケーション。その時お互いに意識する。</li> <li>・声掛けして連携をとる。</li> <li>・情報共有。</li> <li>・備蓄と非難用具の確認入れ替え購入。</li> <li>・避難訓練が必要だが自治会中心といわれると二の足を踏む。もっと実態を想像して即した対策(範囲を明らかに)。</li> <li>・避難訓練シミュレーション。</li> <li>・お年寄りの声掛け生存確認。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障害者への見守り、その家族との連絡確認。</li> <li>・避難場所の確認。</li> <li>・信号の確認。ブラックアウトの時信号がつかなくなるので・・・</li> <li>・自治会でステンレスのリヤカー購入(足の不自由な方などを乗せたりして対応する)。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会でテント・椅子・テーブルを購入(集合場所が分からないなど、人が集まれるようにするため)。</li> <li>・通学路の安全確認(季節によって)。</li> <li>・国道 12 号で自治会が分離していること(同じ自治会でも場所が違くと避難場所が違ってきたり、別々の行動をしなければならない)。</li> <li>・避難訓練やセミナーの開催。</li> <li>・近所の人との挨拶・声かけ・コミュニケーション。</li> <li>・日中の家に残っている老人や子供の避難方法の確認。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご近所との日頃からのコミュニケーションをとって家族構成などを知っておく。</li> <li>・高齢者の方の安否確認。</li> <li>・小さい子がどこに住んでいるか共有したい。</li> <li>・通学の見守りなど、地域活動を通じて顔をあわせておく。</li> <li>・自治会の夏祭りや商店街の炊き出し訓練など、地域行事で楽しく防災意識を高める。</li> <li>・アパートでは大家さんが代表して自治会に入っていて、入居者のところには回覧板が回ってこない。アパートの方針で自治会に加入しないところもあるなど、課題がある。</li> </ul>

### ○11月14日(火)

グループ	内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引っ越しのときに近隣への挨拶をする。</li> <li>・避難所は災害弱者優先という気持ちを持つ。</li> <li>・近隣の方とのコミュニケーションを図る。</li> <li>・高齢者・独居者などの確認(自治会名簿で住民の確認ができるようにする)。</li> <li>・地域で防災訓練を行う。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会が人員不足で崩壊しており、何もできない。</li> <li>・大家さんが1階に住んでいるのですが、広報が来ないために情報不足。</li> <li>・団地に若い人が住めるようにしてほしい。高齢者ばかり。</li> <li>・地域コミュニティーが崩壊している。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からのコミュニケーション、行事参加。</li> <li>・日頃から地域を散歩する(地域の状態を知るため)。</li> <li>・避難訓練。</li> <li>・夜間に災害があると地域の方々の安否確認が難しい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣近所仲良くする。</li> <li>・障害があるなしにかかわらず、近所で情報を教えてくれる人がいるか知っておく。</li> <li>・近所の人と日ごろから、コミュニケーションを取っておく。</li> <li>・自治会の防災訓練等に参加する。</li> <li>・お互いに日ごろから避難場所等の確認をしておく。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会等の祭り等には参加する。</li> <li>・世代を超えて日頃から行事や地域活動を通して交流を持つ。</li> <li>・独居・高齢者の安否確認ができるようにしておく。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で防災訓練をやってほしい。</li> <li>・地域の声かけ。</li> <li>・自治会で発電機を購入するための費用を市に求める。</li> <li>・生活している地域のパトロール(自治会から依頼され「ながらパトロール」をしている)。</li> </ul>

### ③ 市に求めること

○11月7日(火)

グループ	内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の周知を確実にしていただきたい(胆振東部地震の際、開設場所がわからなかった)。</li> <li>・避難所でのトイレの確保を十分にいただきたい。</li> <li>・携帯電話等の充電サービスの拡充(ブラックアウトの時には長蛇の列になっていた)。</li> <li>・市のHPにアクセスが集中してもサーバーダウンしないように備えていただきたい。</li> <li>・情報開示のスピードと、信ぴょう性の確保。</li> <li>・防災対策アプリの確立。</li> <li>・農村地域の防災あんしんマップをつくっていただきたい。</li> <li>・郊外部から江別市内に避難するより他自治体への移動の方が安全な場合もある。近隣市町村との協力体制の充実を。</li> <li>・暴風雪災害時に速やかに通行止めをし、リアルタイムに情報を発信すること。映像等で警告し、自動車の運転を思いとどまらせる。</li> <li>・横断歩道・跨線橋などの老朽化が心配であり、安全性を確保してほしい。</li> <li>・沢を埋めた住宅地や道路の安全性の確認。</li> <li>・石狩川の浚渫を計画的にしていきたい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所へのミルクやおむつの用意。</li> <li>・避難所での女性向けの備え。</li> <li>・避難所でのTKB(トイレ・キッチン・ベッド)環境の向上。</li> <li>・人工内耳や補聴器などの充電の確保。</li> <li>・障がい者に対応した取り組み。</li> <li>・広域避難に備えた他自治体との連携。</li> <li>・市外に勤めている市民にも地域を知ってもらう。</li> <li>・市民への防災対策の訓練研修の呼びかけ(託児を用意しての取り組みも必要)。</li> </ul>

3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬に発生した場合と寒さの対策。</li> <li>・スマホの充電ができる場所。</li> <li>・ある程度に過ぎしやすい避難所環境整備。</li> <li>・市の適時、正確な情報の提供。</li> <li>・災害対応マニュアルに沿った職員の機敏な対応。</li> <li>・継続的な避難訓練実施の啓発。</li> <li>・災害時は、市でできることには限りがあるため市民に協力してもらうことなどをどのように構築していくのが重要。</li> <li>・発生時などの広報車の音が十分に聞き取れないので改善・工夫する。</li> <li>・とりわけ停電、断水に関する情報を様々な手法でわかりやすく市民に提供する。</li> <li>・水害発生の可能性の情報は、なるべく早めに行う。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の給水をはじめ色々な協力と、自治会員の協力体制が見えない(断水の時手伝いを断られた)。</li> <li>・自治会が何をするのかを、話し合う機会を設けてほしい。</li> <li>・自治会の高齢化が心配。</li> <li>・自治会連合会との連携がどんどん衰退していくのでは。</li> <li>・市と市民の協働における、お互いの役割分担もしっかり教えてほしい。</li> <li>・自治会の連携と、役割をしっかり指示してほしい(わかるようにしてほしい)。</li> <li>・自治会との協力体制を強化してほしい。</li> <li>・市と自治会の連携をもっと会員にもわかるように。</li> <li>・高齢者はじめ地域で助けを求めている人への、真の対応をどうするのか。</li> <li>・子供110番の家庭同士が助け合っている。</li> <li>・一人暮らしが増えてきている、課題は多い。</li> <li>・災害時の備品に対して、各自治会に対して補助金を出す。</li> <li>・自治会避難所にも簡易トイレの備蓄をしてほしい。</li> <li>・避難所の学校の中を知っておくことは大事。</li> <li>・災害時の避難訓練、もっと真剣に危機感を持って取り組んでほしい(訓練のための訓練は何回やっても同じ。現場をわかっている人の登用も考えて)。</li> <li>・市の職員との連携が希薄であるのでお願いしたい。</li> <li>・市と市民の信頼関係の構築を図ってほしい。</li> <li>・災害状況の公表と市長・部長含め職員・議員が一線に出て活動してほしい。</li> <li>・市としての横の連携をもっとちゃんとしてほしい(たらい回しではなく)。</li> <li>・市の職員のハートをもった対応が欲しい。</li> <li>・雪害対策等備蓄の確認が必要では。</li> <li>・冬の災害時の訓練始め、備えについても話を聞きたい。</li> <li>・冬の訓練も重要ではないか。</li> <li>・冬の断水時の給水所の在り方と対応の確認をしてほしい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北はじめ他県の雪かき方法の文化を含め検討を。</li> <li>・アンダーパス等の点検と、対応済みとありますが豪雨時の取り組み。</li> <li>・水害等災害の発生状況の公表と速やかな情報発信。</li> <li>・地域の被害など敏速にきちんと把握して公表してほしい。</li> <li>・自然災害時の情報発信の在り方について。</li> <li>・市の防災あんしんマップの活用をもっと進めてほしい。</li> <li>・江別に住んでいたいと思ってもらえるのか。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な情報発信を求めたい(ペット避難の情報、安否確認の方法なども含めて)。</li> <li>・情報格差の解消。スマホを持っていない人への情報発信に取り組むこと。スマホを使えない人に使い方を教える機会の確保(なんでも QR コードでは困る)。</li> <li>・支援物資を集めて運んでくれる場所と人をしっかり確保してほしい。</li> <li>・災害時のトイレの確保。</li> <li>・市職員は市内に住んで、災害時に備えてほしい。</li> <li>・もっと身近なイベントで防災意識の向上を図ってほしい。</li> <li>・子どもたちに向けて、市全体として防災・減災を自分事として捉えることができるような教育をしてほしい。</li> </ul>

○11月12日(日)

グループ	内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時のトイレ問題。</li> <li>・充電施設の増強。</li> <li>・正確な情報発信(デマ、噂対策)。</li> <li>・防災情報のアプリをたくさんの人に共有(PR)、防災アプリの確立(情報の共有)。</li> <li>・ドローンを活用して災害情報をリアルタイムで発信する(ツールのひとつ)。</li> <li>・他地域から来た人(転入者)に防災に情報の発信。</li> <li>・行政と自治会の信頼関係を作る。</li> <li>・防災ハンドブック(北海道)を世帯に1冊配布。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防、警察、自衛隊の連携強化。</li> <li>・民間企業との協定(自家発電など)。</li> <li>・正確な情報伝達手段の確保と伝達のスピード感。</li> <li>・断水時の広報車は何を言っているかわからなかった。停まったの呼びかけ希望。</li> <li>・水害時の避難所の充実。</li> <li>・防災備蓄品がどこにどのくらいあるか市民に周知してほしい。</li> <li>・有事には特にリーダーシップを持ち要であってほしい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を自治会頼みにせず、全市的な対策を市が検討すべき。</li> <li>・福祉避難所の活用を明らかに。実際に可能なのか現場の声をよく聞き、見極めが必要。</li> <li>・マンホールトイレの確認。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を分かりやすく開示。</li> <li>・正確な情報発信スピーディーに。</li> <li>・除排雪 緊急時の対応としても除雪の徹底。</li> <li>・バス廃止など避難できない。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所の確保数が少ない(避難者の受け入れ人数)。</li> <li>・障害者対応ができる体制。</li> <li>・非常物資を早くしてほしい。</li> <li>・簡易トイレの充実・配布方法。</li> <li>・冬は雪捨て場になっている公園や集合場所の避難場所整備。冬の対策の充実。</li> <li>・給水の確保はどうなっているのか。</li> <li>・内水氾濫が心配。</li> <li>・中原通り冠水(汚水桝が小さくてすぐに冠水する)。</li> <li>・情報を早く確実にを行う体制。</li> <li>・自治会に入会する人が少なくて困っている。自治会に入会していても参加する人が少ない。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練をしっかりとってほしい。</li> <li>・災害時の避難場所の指示や誘導をしっかりと行ってほしい。</li> <li>・自治会加入の促進、自治会においてコミュニケーションがとれるような仕組みづくり(楽しく効果的な取り組みの参考事例の紹介など)。</li> <li>・防災意識を高めるために、学校での避難訓練を地域に公開してはどうか。</li> <li>・消防が行う消火栓の点検など、業務予定がわかれば地域の人も見ることができ関心が高まるのではないかと。公式LINEや回覧板で情報発信していただきたい。</li> <li>・道路の排雪を充実させてほしい。置き雪で車を出せなかったり、道路が狭く通行に支障が出たりするのではないかと。思う。</li> </ul>

## ○11月14日(火)

グループ	内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(スマホ・携帯電話の)充電施設の増強。</li> <li>・正確な情報発信(防災無線なども含めて検討してほしい)。</li> <li>・聴覚障がい者が集まれる避難所の設置(コミュニケーション、情報が得られる)。</li> <li>・避難所への手話通訳者の派遣(近隣自治体との連携も含めた体制づくり)。</li> <li>・災害時ボランティアの育成(興味を持ってもらうようなきっかけづくりも)。</li> <li>・他の市町村との連携の強化。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を市主体で夏と冬に行う。</li> <li>・情報を交通整理とともに流してほしい。デマが前回の地震で流れていた。</li> <li>・前回の地震で給水場所を伝える広報車が回っていたようだが、聞こえないため、メールやLINEで知らせてほしい(聴覚障がい者)。</li> <li>・熱中症対策をしてほしい(生活困窮者)。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除排雪をこまめに</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信、スマホでの情報発信。</li> <li>・災害時に市で行っていることの情報わかりづらい(例:断水時の水道部の放送が聞き取れなかった)。</li> <li>・洪水の恐れがあるので早苗別川に堤防があると良い。</li> <li>・充電器、発電機。</li> <li>・Wi-Fi 環境の整備。</li> <li>・防災備蓄品がどこにどのくらいあるか市民に周知してほしい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の一時避難所はいいがその後、聴覚障がい者の避難所を開設してほしい。</li> <li>・障害者にも給水・充電等ができる知らせる方法があるのか。</li> <li>・情報の発信(障害者にも分かるように)。</li> <li>・地域の防災リーダーを作してほしい。</li> <li>・市職員の防災担当を、変えないで長期に渡り対応をしてほしい(防災担当の窓口担当者が短期間で変わらないように)。</li> <li>・災害時の簡易トイレがすぐ使えるように、各自治会に配布してほしい。</li> <li>・防災マップを、より分かりやすくしてほしい。</li> <li>・防災マップに、給水所の記載等があるが分かりづらい。</li> <li>・防災マップの作り方を考えてほしい、説明が欲しい。</li> <li>・各家庭に防災マップが活用されるようになっているのか。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯をソーラー発電にすると電気が止まっても夜の避難ができる。</li> <li>・避難所の備蓄情報が欲しい。毛布もたくさん必要。</li> <li>・夏に避難所になる学校にクーラーを設置しないと体調が悪くなる。</li> <li>・銭湯のやっている情報がほしい。</li> <li>・情報発信をリアルタイムで正しい情報が知りたい、外国人のための解りやすい情報発信。</li> <li>・江別市にお金がないのであれば、防災の費用をクラウドファンディングで集めるとか、新しいことにも取り組んでほしい。</li> </ul>

## [ワークショップ:2]

### テーマを設けず自由な内容での意見交換

○11月7日(火)

グループ	内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村部での不適切な野焼きの抑止。</li> <li>・郊外部での廃棄物のポイ捨てがひどい。さらなる対策が必要。</li> <li>・市民総生産(江別市版GDP)がどうなるのか示す必要がある。観光客誘致は経済効果がどれだけになるのか、分析が必要。</li> <li>・市立病院の駐車場が不足。午前9時に行っても駐車スペースがなく、対策を求める。</li> <li>・子どもの医療費助成の対象世帯の所得制限をなくしてほしい。</li> <li>・居住する外国人(中古車販売等をしている方たち)が増えてきていて、どのようにつながりを持ってほしいのか困っている。不安を払拭するためにも、市として対応する窓口をつくってもらいたい。</li> <li>・高速道路の西インターと東インターにおける開発について、具体的に示すべき。</li> <li>・農村地域の道路での陥没や街灯切れがある。点検と対応を求める。</li> <li>・防犯の面から石狩川の堤防の草刈りが必要。</li> <li>・保育園や小学校等にエアコンの設置を望む。</li> <li>・小中学校での学習ボランティアをもっと充実させてほしい。</li> <li>・自治基本条例や市民参加条例ができたが、審議会等への市民参加(市民公募)が3件以上は認めない(委員の兼職は3付属機関等を上限)となっていることは問題。</li> <li>・都市計画審議会は議員が多すぎる。市民公募枠が2名になっており、参加したい市民が参加できない。</li> <li>・パブリックコメントは、市民の声を聞くだけ。市の考えを示し、それ以上の対話になっていない。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな企業を呼んでほしい。</li> <li>・大きな文具店、本屋が欲しい。</li> <li>・市立病院はもう少し儲けを増やしても良いのではないか。</li> <li>・成年後見人の資質に疑問がある方がおり、資質を担保してほしい。</li> <li>・どの医療機関でも筆談できるようにお願いしたい。</li> <li>・障がい者への病院の窓口、医師の対応が悪いときがある。</li> <li>・市と情報大との連携調査研究に、筆談でコミュニケーションできるのに参加を断られた。</li> <li>・コロナワクチン接種の際に、障がい者への個別対応があっても良かったのではないか。</li> <li>・産院を増やしてほしい。</li> <li>・託児施設と保育士を増やしてほしい。</li> <li>・妊娠中の具合が悪い時、子育て中の病院受診時の託児利用をもっとできるようにしてほしい。</li> <li>・男性の育休取得を推進してほしい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの損害賠償保険への加入の補助。</li> <li>・江別市内の地域間での学力レベルの差に課題がある。</li> <li>・子ども医療費を高校まで無償にしてほしい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交通の確保。</li> <li>・乗り合い、オンデマンドなどの路線確保。</li> <li>・福祉バスの復活。</li> <li>・高齢者の3～4割が難聴、高額な補聴器の助成してほしい。</li> <li>・スマホ利用ありきの社会に疑問。</li> <li>・高齢者政策の充実。</li> <li>・高齢者へのスマホ利用スキルアップ支援。</li> <li>・物価高騰による年金生活者に対する要望を国へ。</li> <li>・市内公園の管理のさらなる充実。</li> <li>・子育て世代政策のさらなる充実。</li> <li>・学童待機の解消と利用したい学年までの利用。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除排雪について(生徒の通学路の確保と、学校の臨時休校に対する対応)。</li> <li>・通学時の子供たちの安全について。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民として、行政の大変さを理解したい。できること、できないことの情報共有、そのために積極的な情報発信を。</li> <li>・何かあれば市役所に頼らざるを得ない。自分たちでできることはやるが、何かあっても大丈夫だという安心感が欲しい。</li> <li>・早く学校へエアコンを設置してほしい。</li> <li>・早く庁舎の建て替えを。耐震性の問題、エアコンのない環境での労働で熱中症が心配。</li> <li>・選挙公報が小さい。見にくい。読む気にならない。もっとわかりやすく、選ぶ時の参考になるものにしてほしい。</li> <li>・議員の活動を伝えるペーパーが欲しい。作成に費用がかかるので、市で出してはどうか。</li> <li>・直接議員活動を知る機会が欲しい。</li> <li>・日頃の議員活動を発信してほしい。</li> <li>・SNSや紙媒体などで議員の活動、動向を発信してほしい。</li> <li>・壁新聞を作成して貼りだすなど、どんな人でも(実際は昭和の人間でも…との表現)見ることができる情報発信を。</li> </ul>

## ○11月12日(日)

グループ	内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪問題(排雪などの情報発信や除雪補助金の関係)。</li> <li>・江別駅前周辺のまちづくり(江別小学校跡地の利用) 江別駅から跡地、市立病院、蔦屋書店まで建物でつなぐ。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス路線が減っている(牧場町に居住、デマンド交通に関心がある)。</li> <li>・自治会の役員のなり手が少なく、市のOBの方もどんどん入ってほしい。</li> <li>・自治会が地域によって状況が大きく違う(加入率)。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林公園の活用(キャンプ場もっと開放してほしい)。</li> <li>・IC 周辺等の工業地用地の整備。</li> <li>・地域医療体制の充実。</li> <li>・市立病院経営問題を解決してほしい。</li> <li>・地盤改良。</li> <li>・南大通りの空白道路区間の解消。</li> <li>・託児施設の充実を求める。</li> <li>・外国人転入者との協働を考える必要がある。</li> <li>・今あるものをもっと活かしてほしい(空き家活用等)。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿、熊の問題。</li> <li>・環境整備 草刈り不十分なので野生動物との住み分けが出来ない。</li> <li>・バス助成が40年ほど前はあった。</li> <li>・循環バスが効果的。</li> <li>・当別や南幌等近隣に行けない。</li> <li>・インフラ整って住みやすいまち。</li> <li>・バス運行に難あり。</li> <li>・自動車免許証返納後の交通費用がバス路線廃止により負担増に。</li> <li>・高齢者の外出支援もっと力を入れるべき。</li> <li>・自転車を電動だと重いので切り替え式にしたら意外と坂が多くて電動にすればと後悔。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別駅周辺の空き店舗問題の解決。</li> <li>・江別市での雇用者を増やしてほしい。人口は増えているけど働きに行くときは札幌に出てしまう。</li> <li>・工業団地で江別市民の雇用拡大(工業団地で働いているのは札幌市の人ばかり)。</li> <li>・企業が少なくなっているので企業誘致してほしい。</li> <li>・救急車が足りないので増やせるのか？冬場転んで救急車を呼んだが足りないという理由で来てもらえずに困った人がいた。</li> <li>・老人パスを出す補助があるとよい(札幌市はやっている)。</li> <li>・高齢者の免許返納した時の助成対応。</li> <li>・冬のバス停が除雪不十分なのでしっかり入ってほしい。特に2番通り、3番通りや新栄通りが行き届いていない。</li> <li>・バスの経路の改善。遠回りしている感じがする。</li> <li>・子育て学童施設へ4年生以上も受け入れしてほしい。</li> <li>・転入したときの最初の手続きの窓口である戸籍住民課で、転入者の手続きの時に自治会の紹介をして広報活動をしてほしい(5年前に伝えたがかなわなかった)。</li> </ul>

5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工食品への添加物が気になる。また、ゲノム編集食品の表示がされないことへの不安がある。学校給食には使わないなど、ルールを厳格にしてほしい。</li> <li>・「学校の先生が怖い」との声がある。子どもに寄り添っていない先生がいる。未だに矯正型教育をしている。</li> <li>・不登校児の研修会に、先生も参加し理解を深めてほしい。</li> <li>・子どもの権利条例が大事(必要)。</li> <li>・「笑顔あふれるまち」への具体策は？特に、子どもの笑顔について、具体策を示してほしい。</li> <li>・雪の日の通学路が危ない。地域によっては地吹雪で歩道が埋まってしまったり、交差点が見えにくくなっていたりすることがある。</li> <li>・バス停に雪が積もっていて、高齢者が転倒するなど危険。市民の協力も得るなどして、安全にバスに乗れるようにしていただきたい。</li> </ul>
---	--

○11月14日(火)

グループ	内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者が働ける場所を確保してほしい。障がい者も高齢化しているので、働きやすい環境も併せて考えてほしい。</li> <li>・ミサイル攻撃に備えたシェルターの整備。いざというときに逃げる場所がない。</li> <li>・広報が届かない。どこに行けば広報が手に入るかわかるマップがほしい。</li> <li>・インターネットを使えない人に情報を伝えるための努力を。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大麻中央公園の設備がぼろぼろで景観が良いのにもったいないので、直してほしい。</li> <li>・若い人を育てるだけの人がいらない。</li> <li>・高齢者に交通費助成。</li> <li>・バス運行に難あり。</li> <li>・地下鉄を造ってほしい。</li> <li>・共働き世帯に時間を作ってあげてほしい。</li> <li>・近隣市町村との建物や企業誘致のバランスをとるよう調整してほしい。</li> <li>・生活不安しかない。</li> <li>・物価高騰対策をしてほしい。</li> <li>・市長が忙しすぎて、市長の家が心配。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電線の埋没(カラス対策)。</li> <li>・置き雪が多い。</li> <li>・自治会の除排雪回数を増やしてほしい。</li> <li>・地下鉄があると良い(雪でJRはストップして札幌の職場へ行けない)。</li> <li>・大麻駅の裏まで車通り抜け出来ず不便。</li> <li>・介護保険料が高額。</li> <li>・市立病院の経営状況はどうなっているか気になる。</li> <li>・手話サークルで公民館を利用している。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの有無に関わらず市民に手話を覚えてほしい。</li> <li>・テニスコート周辺の整備をしてほしい。</li> <li>・使われていない施設、パークゴルフ場、テニスコート等を健康維持のために使い易くしてほしい。</li> <li>・テニスコートを予約制にしてほしい(行かないと使用状況がわからず不便)。</li> <li>・パークゴルフ等外で活動すれば病気のリスクも減るが混んでいる。</li> <li>・大麻西公園テニスコート脇の木を手入れしてほしい(枝が伸びすぎている)。</li> <li>・公共施設にエアコンがないので暑い。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話通訳者の、正職員対応、地位確保の対応を是非してほしい(年間かなりの回数派遣依頼がある)。</li> <li>・手話言語条例ができ、学校はじめ多くの団体等で、手話の講習や勉強会が開催される環境ができればいい。</li> <li>・高齢者増えていくのは、この先見えているので対応もよろしくお願ひしたい。</li> <li>・介護人材の確保お願ひしたい。</li> <li>・買い物難民も増えてきている、その辺の対応をしっかりやっていただきたい。</li> <li>・野幌森林公園をはじめ、文京台をはじめ自然環境の維持をしていただきたい。</li> <li>・大学が多くこれだけ大学生がいるのだから、卒業しても江別に残ってもらえる取り組みをしてほしい(江別に就職をして残ってもらいたい)。</li> <li>・労働人口の確保。</li> <li>・ラピダスが千歳に来るので、働く人を江別に呼び込めないか。</li> <li>・医療、市立病院の充実、選ばれる市立病院になってもらいたい。</li> <li>・土佐市との交流はどうなっているのか(見えない部分が多い)。</li> <li>・市は何を課題として取り組んでいるのか、江別市の問題を知りたい。</li> <li>・市も市民の望むことを一遍にはできないと思うので、持続して声にしていくことが大事だと思っているのでお願ひします。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイロン・プラスチックはリサイクルをした方が良く、高温処理でも問題はないとのことだが自然破壊につながる。</li> <li>・市立病院や市役所に高齢者が利用するために福祉タクシーや補助を出すとい(80歳以上になると車をやめる人が多い)。</li> <li>・大麻地区にも、ソーラー発電の付いた公営住宅を建ててほしい。</li> <li>・大麻駅周辺をもっと活気のある地域にするために、施設を建ててほしい(森林地帯はカラスの巣)。</li> <li>・大麻は交通難民なので小回りするバスを出してほしい(大麻東町)。</li> <li>・郷土資料館 文化財整理室(角山)がお宝の山でした。有効活用できませんか。</li> <li>・市民の意見やアイデアが議員や市に気軽に伝えるシステムを作ってほしい。</li> <li>・困りごとがあったとき、どこに相談してよいかわからない。</li> <li>・10年20年前から取組んで出来なかった事を、今の現状を踏まえ対応してほしい。</li> </ul>

## 【意見の取扱いについて】

頂いたご意見は、内容に応じて所管する委員会において、その取扱いを協議いたしました。ご意見は、参考として承ったほか、調査する必要があるものについては、所管部局に報告を求め、質疑を行いました。

所管部局から報告を受け、調査した意見

### 【生活福祉常任委員会】

市立病院の受診しやすい環境づくりについて

### 【所管からの報告】

初めに、公共交通機関の状況についてですが、市立病院にアクセスできるバス停留所は3か所あり、敷地内にある江別市立病院停留所には、ジェイ・アール北海道バスの江別線とゆめみ野線の2系統に加え、北海道中央バスの江別2番通線の計3系統が乗り入れしているほか、2番通り沿いにある江別市立病院停留所には、北海道中央バスの江別新さっぽろ線と札江線の2系統が、国道12号沿いにある江別3丁目停留所には、ジェイ・アール北海道バスの江別線が停車します。

次に、駐車場の状況ですが、現在、敷地内にある第1駐車場から第4駐車場までの4か所の駐車場のほか、敷地外に借地駐車場が2か所あり、駐車可能台数の合計は539台です。

このほか、冬期間は、積雪による駐車台数の減少に対応するため、これらの駐車場に加え、臨時駐車場を設けております。

また、受診しやすい環境づくりへの今後の対応として、王子エフテックス株式会社から賃貸借している職員用の借地駐車場について、敷地面積の拡張を協議しているところです。

### 【報告を受けての対応】

職員の駐車場利用に当たり、駐車場所などの管理を行っていないことが明らかになったことから、市立病院を利用される方が、支障なく駐車することができるように適切な管理を行っていただきたいとの指摘がありました。

## 4. アンケート結果

### 第9回市民と議会の集い 参加者アンケートの結果

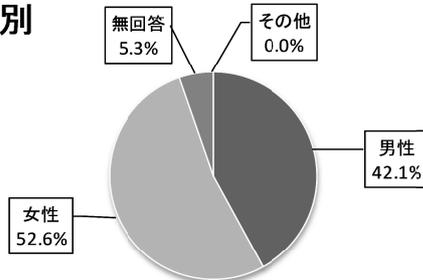
11月7日・12日・14日 合計(参加 38名、アンケート回答 38枚)

【参加者について】

性別

	人数	%
男性	16	42.1
女性	20	52.6
無回答	2	5.3
その他	0	0.0
合計	38	100.0

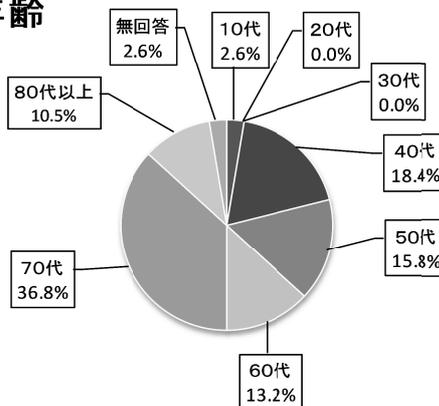
性別



年齢

	人数	%
10代	1	2.6
20代	0	0.0
30代	0	0.0
40代	7	18.4
50代	6	15.8
60代	5	13.2
70代	14	36.8
80代以上	4	10.5
無回答	1	2.6
合計	38	100.0

年齢

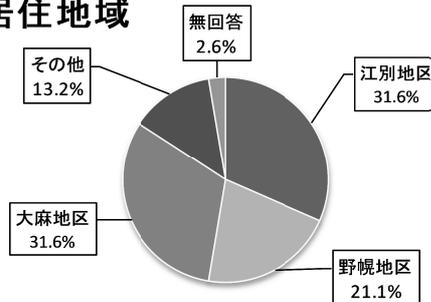


居住地域

	人数	%
江別地区	12	31.6
野幌地区	8	21.1
大麻地区	12	31.6
その他	5	13.2
無回答	1	2.6
合計	38	100.0

※その他( )

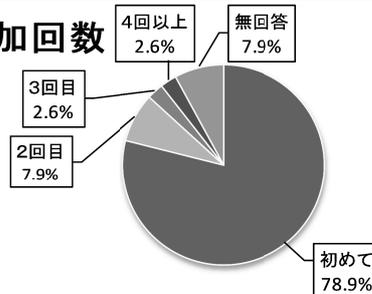
居住地域



参加回数

	人数	%
初めて	30	78.9
2回目	3	7.9
3回目	1	2.6
4回以上	1	2.6
無回答	3	7.9
合計	38	100.0

参加回数



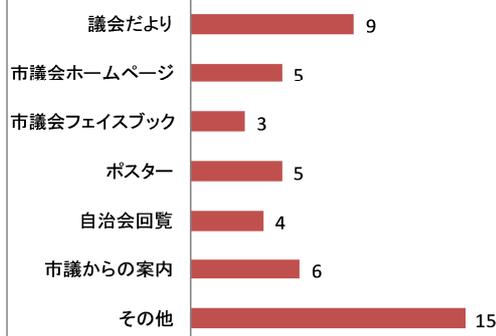
【市民と議会の集いを知った理由】

複数回答可

	人数	%
議会だより	9	19.1
市議会ホームページ	5	10.6
市議会フェイスブック	3	6.4
ポスター	5	10.6
自治会回覧	4	8.5
市議からの案内	6	12.8
その他	15	31.9
合計	47	100.0

※その他( )

知ったきっかけ(人)

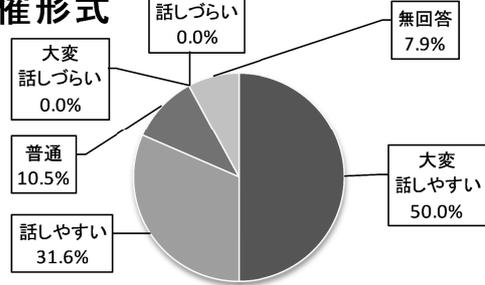


【市民と議会の集いに参加した感想】

開催形式について

	人数	%
大変話しやすい	19	50.0
話しやすい	12	31.6
普通	4	10.5
話しづらい	0	0.0
大変話しづらい	0	0.0
無回答	3	7.9
合計	38	100.0

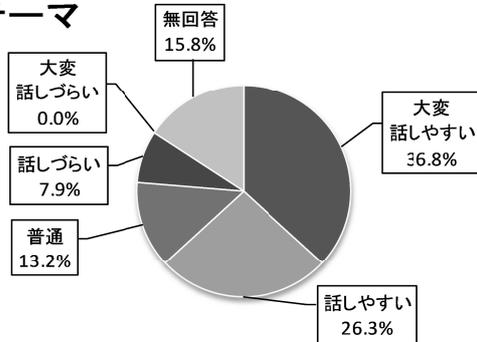
開催形式



テーマについて

	人数	%
大変話しやすい	14	36.8
話しやすい	10	26.3
普通	5	13.2
話しづらい	3	7.9
大変話しづらい	0	0.0
無回答	6	15.8
合計	38	100.0

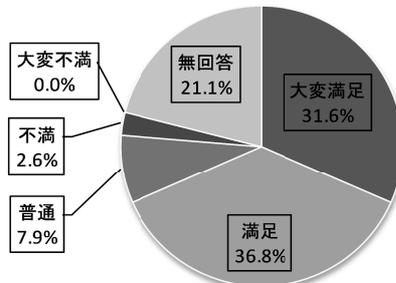
テーマ



総合的な満足度について

	人数	%
大変満足	12	31.6
満足	14	36.8
普通	3	7.9
不満	1	2.6
大変不満	0	0.0
無回答	8	21.1
合計	38	100.0

総合的な満足度

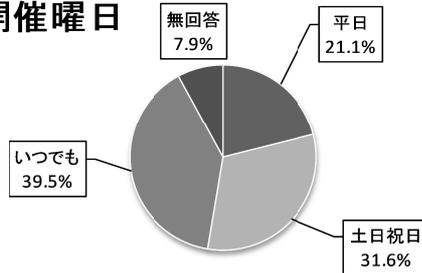


【今後の市民と議会の集いについて】

開催曜日

	人数	%
平日が良い	8	21.1
土日祝日が良い	12	31.6
いつでも良い	15	39.5
無回答	3	7.9
合計	38	100.0

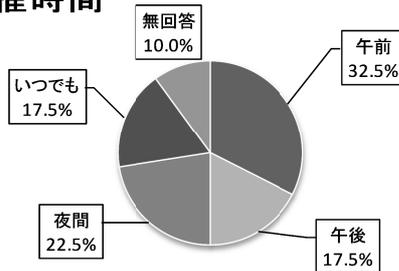
開催曜日



開催時間

	人数	%
午前が良い	13	32.5
午後が良い	7	17.5
夜間が良い	9	22.5
いつでも良い	7	17.5
無回答	4	10.0
合計	40	100.0

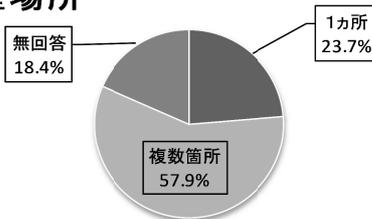
開催時間



開催場所

	人数	%
1カ所が良い	9	23.7
複数箇所が良い※	22	57.9
無回答	7	18.4
合計	38	100.0

開催場所



※複数箇所と答えた方の場所の考え方

今回のような感じより、もっと自治会単位で近所どうして参加できるとよい。

いまの3地区開催でよい。

現状可

交通の便

議員の日常活動に負担のない回数。

地域のセンター

現状と同じ江別・野幌・大麻が良い。

野幌・江別・大麻の方々が参加しやすいように。

近くてよい。

江別地区や野幌地区なら参加しなかった。

日程の調整がしやすい。

大麻公民館

今後取り上げてほしいテーマ

冬の対策について考えていただきたい。

子育て支援について。

今後江別を、どの様に進めて行きたいかなど。

今回の提言の多いのを参考にされても。

教育、税金の使い方。

高齢者の交通問題

現代の食(添加物)の事。

食について 不登校児について 学校のあり方について。

自治会の入会世帯の増加について。

自治会活動について、自治会の退会者の増や入会者の減。

大学生の定着

### 市民と議会の集いに参加しての、ご意見、ご要望、ご感想

- ・話しやすくて良かった！
- ・市議の方と話ができて良かった。→身近に感じました。
- ・地元議員以外と話す機会が普段ないので今日はとても有意義でした。ありがとうございました。
- ・多様な市民が参加できるようさらに工夫すべき(開催日時・時間帯)平日昼間は参加者が制限される。
- ・日頃望んでいた集いでした。議員の方々とお話しできて大変うれしく思います。直接色々な要望を伝える事ができてよかったです。
- ・可
- ・市議の方と直接の対話が良かった。
- ・こういった集いがあることを、もっと周知して欲しいです。託児サービス非常に助かりました。有意義な時間を過ごせて大変嬉しく思います。
- ・市民参加が少ないので参加者を増やす工夫、議員・議会などへの意見を出す時間・議題が必要では。高齢者の市民が増えてくるので、その年代の要望など聞く議題もあればと思います。
- ・もっと多くの市民に来て欲しいですね。
- ・初めての参加でしたが、皆さんと意見交換し、とても良い時間を過ごすことができました。また参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・親子で参加しました。娘と来たからこそ思いついた意見もあったので、一緒に来て良かったです。とても話しやすく楽しかったです。お疲れさまでした！！
- ・もう少し一般の方が参加できると良いですね。
- ・今日はありがとうございました。当別町議会議員 角田広佑
- ・南大通全線開通へ向けお話が出来たことはよかったです。
- ・今日は見学させていただきありがとうございました。来年度に向けて準備中ですので、また御相談させていただくかもしれません。よろしく願いいたします。
- ・今回初めての参加でしたが、参加人数が少なかった。明るい街づくりをテーマにしてミリヨクある江別にしたい。
- ・今回託児があり、子を預けて参加ができました。一言に防災と言ってもいろいろな面で人とのコミュニケーションが大切だったり市と市民のつながり、こういう行事を増やしてもらえたらと思いました。とても勉強になりました。
- ・とても色々はなせて大変よかったです。女性議員さん話しやすくてとても助かりました。写真などとりまわられている議員の方は無表情でこわかったです。せつかくの顔合わせの機会議員の方と出会う機会なのでもう少しコミュニケーションひろげれる雰囲気があるとよいと思いました。すみません・
- ・今日参加して良かったです。今日の意見を議会へもっていってくれることがうれしいです。
- ・議員の方々と集い参加は初めてでした。さすが短時間の中で素晴らしい導き方で大変楽しみながら意見を出し合い議員さんの日頃のお勉強力を感じました。とても良い企画でした。多くの市民の方々が参加していただきたいと思います。
- ・前述のテーマの実施を！（大学生の定着）
- ・市民の要望を出す時間がとても少なく、残念だった。
- ・たいへん良いとりくみだと思いました。
- ・又、この様な集いをお願い致します。
- ・議員さんと直接おはなししてみても、10年前・20年前にできなかったから、今もできないと言われてるのがよくわかりました。市民の声がないから動けないとのことですが、市民は意見や要望を伝えることができないと思っています。
- ・勉強になりました。
- ・手話通訳者は市正職員を。手話講習会・出前講座の予算を増額して下さい。

# 5. 当日の様子

## [ワークショップの流れ]



①小さなグループをつくります。



②テーマについて、考えていることを自由に、カードに書いていきます。

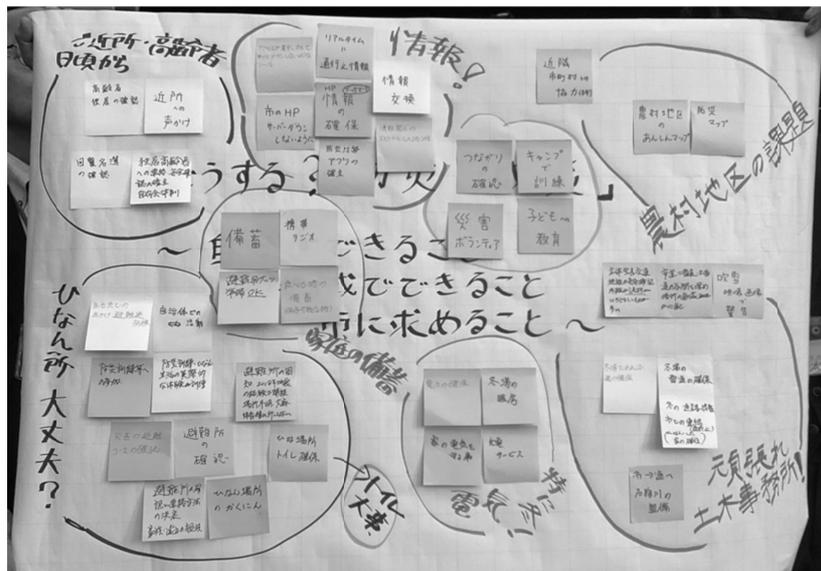


③模造紙にカードを貼りつけ、内容別に振り分けて、グループの意見を整理します。



④グループで取りまとめた内容を発表します。

⑤発表された模造紙



[11月7日(火) 野幌公民館]



[11月12日(日) 市民会館]



[11月14日(火) 大麻公民館]

